

地域の概要



吉野は人口増加傾向で、年少人口比率が高い。土地区画整理が進んでいる区域を中心に良好な生活環境が形成されつつある一方、道路などの生活基盤が未整備地域もある。人口約5.1万人。高齢化率29.5%



取組のきっかけ

地域の高齢化が進むなか、身体機能の低下や免許返納により外出が難しくなる高齢者が増えている。その一方で、家族や知人、ボランティアなどが送迎を担う機会も増えており、安全面への配慮がより一層求められる状況となっていた。こうした背景から、移動支援に関わる住民や事業所職員が安心して活動できるよう、安全運転や介助技術を学ぶ機会として「すまいるドライバー養成セミナー」を開催することとなった。

取組の目的

- 移動支援に関わるドライバーの安全運転技術の向上
- 高齢者や障害者への適切な介助技術の習得
- 地域全体の移動支援の質と安心感の向上

これまでの経緯

年・月	出来事
令和6年7月	県社協の研修で移動支援の事例を発表 「送迎支援に関する運転や介助技術を学ぶ場がない」との声が寄せられる
令和6年秋頃	地域団体や送迎活動員、住民からもボランティア送迎員の安全対策の要望が広がる
令和6年12月	地域主体の2層協議体「地域支えあい座談会」の設立を検討
令和7年2月	吉野圏域にて「吉野地域支えあい座談会」を設立し、介護送迎における安全対策について協議
令和7年5月	吉野自動車学校の協力により「第1回すまいるドライバー養成セミナー」を開催
令和7年11月	「第2回すまいるドライバー養成セミナー」を開催

活動の概要

- 取り組み内容・・・移動支援や送迎に関わる住民・事業所職員等を対象に、安全運転技術や介助スキルを学ぶ講習を実施。座学・実車演習・介助実技を組み合わせた実践型セミナー『すまいるドライバー養成セミナー』を開催。
- 開催頻度・・・年2回開催（R7年度：7月・10月を予定）。年度末には修了者交流会も企画中。
- 受講人数・・・第1回：定員30名に対し約40名の応募、最終参加者36名。
第2回：参加者20名。
- 受講料金・・・1,000円（補助金活用により低額設定）。修了者には認定証・缶バッジ・車用ステッカーを配布。
- 関わった団体・・・主催：吉野地域支えあい座談会（第2層協議体）
協力：吉野自動車学校、交通安全協会、JAF、社会福祉法人、NPO法人、介護事業所、行政、地域包括支援センター

取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

〔行政担当者としての役割〕

- 協議体への参加
- 実施に向けて活用できる補助金等の情報提供
- 当日の手伝い

〔SCとしての役割〕

- 協議体の開催支援
- 関係機関への協力依頼
- 周知広報



現時点での到達点（効果・課題など）

〔効果〕

実施後のアンケート結果から、受講者の安全意識の向上、地域での信頼感の醸成、多様な主体の繋がりができたこと感想をいただいた。

〔課題〕

- 予算、資金面の確保
- 関係者の理解促進
- 参加者募集、確保
- 講座内容、プログラムの向上
- 受講者へのフォロー等